

テロ行為の根絶を求める意見書

I Sを名乗る過激派武装組織によって、拘束されていた二人の日本人が殺害されたと見られる動画が公開された。この残虐非道な蛮行に対し、満身の怒りをもって糾弾するものである。こうした悲劇が繰り返されることを絶対許してはならない。そのためには、I Sを名乗る過激派武装組織などのテロ組織に対して、国際社会が結束して対処することが重要である。

また、報道によれば、国連の安全保障理事会が採択した決議では、I Sを名乗る過激派武装組織の広範囲にわたる一般住民に対する攻撃を「人道に対する罪」に当たるとして断定し、同組織を武装解除と解体に追い込むため、外国人テロリストの流入、武器の供給及び資金調達の防止などを各国に呼びかけたとされている。

我が国の外交姿勢も、この国際的な努力の方向に資するものでなければならず、テロの温床を根絶することに積極的に貢献し、国際社会の中で存在感を発揮すべきである。

よって、国に対し、テロ行為の根絶を求めるため、下記の事項を強く要望する。

記

- 1 I Sを名乗る過激派武装組織などのテロ組織を武装解除と解体に追い込むため、国際法に基づいて各国と連携し、テロ行為の根絶に向けて万全の手立てを講ずること

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

平成27年3月25日

東海市議会議長 早川直久